

I 訓練内容・主なカリキュラム・取得可能な資格など

※

訓練科名

訓練期間

木造建築 規矩術

短期

一般課程では大工道具の使い方などを6日間 36時間で訓練します。専門課程では、受験資格を有する方に国家試験である建築大工の技能検定合格レベルに達する技能が身につくように構成されたカリキュラムに基づいて6日間42時間で訓練します。

II 訓練校の声

疎かにしがちな、ノミや鉋の使い方・研ぎ方・基本動作や、日本に古から伝わる建築技術である規矩術（指しがねを使い作図や墨付けをする）の知識と実技を基本から学び、国家試験である建築大工の技能検定合格（1～3級）を目指します。

III 受講生の声

何と言っても仕事の無い、日曜日に学べるのがいいです。プレカット全盛の時代ですが、リフォームなどでは、この教室で習った規矩術や墨付けなど広い知識があれば、どのような現場でも活かせると思います。また国家資格である建築大工技能検定への指導も大変ありがたいです。

IV 訓練の様子・訓練風景など



↑訓練風景



↑建築大工技能検定1級の作品